

第2回地域会議議事録

1、日 時 平成27年9月13日（日）13：30～15：30

2、場 所 久寺家近隣センター 会議室

3、出席者

【久寺家地区自治会・町会】4名

久寺家マンション自治会会長代理、久寺家三菱自治会長、久寺家二丁目自治会長、日新自治会長

【久寺家地区民生・児童委員】4名

【久寺家地区子ども会】4名

久寺家マンション子ども会、久寺家三菱子ども会（2名）、久寺家二丁目子ども会

【我孫子北地区社会福祉協議会】1名

会長

【久寺家生活お助け隊】1名

隊長

【久寺家地区まちづくり協議会（以下、まち協と呼ぶ）】7名

会長、副会長、総務部長、企画部長、施設管理部長、広報部長、総務部副部長

【地域会議事務局】2名

【我孫子市 市民活動支援課】2名

4、議 事

出席者の自己紹介、まち協会長の開会の挨拶の後、会長から以下の通り、これまでの状況について報告された。

(1) 27年度活動状況

① よりみちサロン「風」の活用状況

週2日（水・金）月平均8回、開店以来これまで月当たり240名前後の利用者で推移している。2名の責任者の頑張りですmoothな運営ができ、順調な活用状況になっている。市からのアドバイスもあり、各種イベントを月4～5回行っているが、初級者麻雀教室、ギターやハーモニカに合わせて歌う会、笑いヨガ等が賑わっている。週2日を週3日にとの要望もあるが、責任者の仕事量・サポーターの要員数等の問題もあり、時期尚早との結論となった。

② 多世代間交流

○夏休みこども宿題教室

これまでは、高齢者に係る問題を中心に対応してきたが、大事な子どもたちを地域として見守って行くことも重要アイテムであるとの認識から、初めての試みとして「夏休みこども宿題教室、ラジオ体操・太極拳」を実施した。

「夏休みこども宿題教室」としては、「書道教室」「絵画教室」「絵手紙教室」「工作教室」「宿題なんでも相談教室」を開講。これらの教室の指導員・先生は、全て地域の知識・経験のある方をお願いし20数名の方々のご協力を得た。

また、ラジオ体操・太極拳は、夏休み開始時5日間と終了時5日間の計10回実施。参加者は子ども20名、大人30名計50名が参加した。最近、町で子ども達からの声掛けなども増えており好ましい雰囲気生まれてきている。

9月5日子ども会の関係者と指導員の約30名が参加し反省会を開催。概ね好評で来年も開催してほしいとの要望が多かった。従って、来年も引き続き実施する方向で地域会議へ提案したい。また、子ども会の行事とコラボレーションという方法も併せて検討していきたい。

③ 買い物支援

この2年いろいろ検討してきたが、ようやく実施レベルまで持ってこれたと思う。

方法としては、「久寺家生活お助け隊」のメニューの一つとして実施することにした。そして、市内のシニアネットサポート「あらしね」(NPO法人)の行っている買い物支援に準じて、車両事故があった場合の訴訟問題などに対応できるよう、我孫子市社会福祉協議会の「送迎サービス補償」を付保することになった。サポート利用希望者は「久寺家生活お助け隊」の会員になっていただき、万一車両事故に起因する損害については、補償保険の保険の範囲内で賠償を受けられるものとし、それを超える損害額については、サービス提供者には賠償を求めない「同意書」を提出していただくことにしたい。「ちらし」を作成して各家庭に配布し「買い物支援」を必要とされる人数を把握したい。また、併せてサポーターを募集したい。

久寺家生活お助け隊隊長

お助け隊は、同じ地域に生活する者が、お互いに助け合い交流を深めることを目的に活動してきたが、今回、新たに「買い物支援サービス」を取り上げることにした。その内容は当面買い物に限定する。

サービス概要は別添「久寺家地区まちづくり協議会・久寺家お助けからのしらせ」に基づき説明。

なお、運営が月3回では少ないと言う意見があると思うが、サポーターの負担を考慮し、先ずはこの線でスタートしたい。サービス希望者が公平に情報を得られるようパンフレットは、全戸配布とすることとした。

まち協会長

支援のサポート隊員を増員する必要があると思う。各自治会の会長さんに

は、知人や近隣の方々への勧誘をお願いしたい。

④ 生活用品活用情報

近隣センター・よりみちサロン「風」に掲示板を設置することにした。

必要ある方は、物品名、氏名、電話番号を記入していただく。掲示されている情報に興味のある方は、直接相手方に電話をかけて商談を進める方法で実施をすすめたい。

⑤ 講演会の開催

「老後の健康管理」（講師は 生活医療ネットワーク 代表 谷口 義則）について、11月8日（日）久寺家近隣センターにて開催を予定。

(2) その他の課題並びに意見交換

○ 第1回地域会議議事録を配布し確認を求めたが、異論はなし。

○ 夏休み子ども宿題教室の感想・反省

久寺家三菱子ども会

夏休みの宿題は毎年親も子も大変だが、今年はスムーズに出来た。無理のない範囲で来年もお願いしたい。

久寺家二丁目子ども会代表

子どもは工作教室に参加した。家庭でやると子どもと喧嘩になったりするが、今回はすべて用意していただき優しく教えていただいたので、子どもが楽しく出来たと喜んでいました。

久寺家マンション子ども会代表

親にとっては大変助かる企画でありがたい。また、最近学校から不審者情報が毎週のように知らされ不安だが、このような企画を通じて知り合いになって、道で会った時子どもに声掛けいただけるのは安全にもつながり大変ありがたい。

久寺家三菱子ども会

子どもはラジオ体操と工作教室に参加した。子どもが早起きになるので良かった。期間はもう少し長くても良かった。

○ 地域会議・まち協と三菱子ども会の担当について

久寺家三菱子ども会

久寺家三菱子ども会では代表とまち協担当が別の人になっている。そのため、地域会議はどちらが出席したら良いのか迷う場合がある。まち協からの案内はどちらか一方だけの場合があり、片方に情報が伝わっていないことがある。年度初めの「まち協」への担当者届出の用紙には1名しか記入できないが、代表とまち協担当者複数名が記入できるようにし

てほしい。また、だれがどの会議に出ればよいかをはっきりさせていただくとありがたい。

久寺家三菱子ども会

まち協と地域会議の関係がよくわからず、出席の案内をいただいても判断に迷うことがある。

市民活動支援課長

始めに申しあげたいのは、地域会議は組織ではなく、その地域の身近な問題を、関係する様々な立場の人たち、例えば自治会、子ども会、老人会、民生委員、そして6つの自治会の皆さんで運営されているまち協などが話し合う「話し合いの場」であるということ。それぞれの立場、自主性を大事にしながら皆さんで気軽に話し合いの場ということで理解していただきたい。

○買い物支援について

お助け隊隊長

サポーターは、現在お助け隊から5名、新たにまち協から15名くらい参加していただければと想定している。除雪サポート時の民生委員の方との話から20名程度いけば要望に応えられるのではないかと考えている。

まち協会長

利用者数は、チラシを配布してみないとわからない。

○生活用品活用情報

まち協総務部副部長

譲り受け希望価格を掲示する欄を設けてはどうか。

まち協会長

基本的に無料が原則なので、価格欄を設けるのは好ましくない。物品名記入欄に希望価格を付記されることは構わないと思う。

○よりみちサロン「風」について

久寺家二丁目自治会長

若い世代の方がよりみちサロン「風」のことがよくわかっていないように思う。

まち協会長

建物はNPO法人「風」が使用している建物の一部をお借りして、よりみちサロンを運営している。住民の皆さんならだれでも利用できる。いろんな人と顔見知りになれる「地域のコミュニティサロン」。

民生・児童委員

「風」は、精神・身体障害者の自立の為の訓練機関。そこをご厚意でよりみちサロン「風」として利用させていただいている。「風」としては、訓練生が一般の人と触れ合うことも重要なカリキュラムと位置付けており、サロンの運営にも訓練生が参加している。サロンの運営に当たっているボランティアの皆さんには、訓練生との触れ合いも任務の一つと理解いただいている。

また、訓練生が作った野菜、うどん、お菓子等も販売している。このような活動の意義を、もっと広く地域の方に知っていただく必要があり、自治会の方々にはそれぞれの場でこの活動を話していただきたい。特に若い世代には活動の意義を知っていただき、次の担い手になっていただく必要がある。

久寺家三菱自治会

自治会で出た話ですが、よりみちサロン「風」は、いつもいっぱい、しかも仲間同士が集まっているようで入り難いということ。

民生・児童委員

午前中なら空いているので勧めて欲しい。

○地域会議について

久寺家二丁目自治会長

地域会議はこの地域の集まりのトップなのか。また、どんな団体が参加しているのか。

地域会議事務局

話し合う課題によって若干の違いはありますが、自治会・町会、民生委員、子ども会、北地区福祉協議会。久寺家まちづくり協議会が中心になると思う。

まち協総務副部長

地域の井戸端会議の場と理解いただければ良いと思う。

久寺家三菱子ども会

自治会の役員をやっていた経験からすると。自治会とまち協、地域会議の関係がよくわからない。

まち協会長

各自治会・町会の会長には地域担当としてまち協の役員になっていただいております、自治会とまち協の繋ぎ役を担っていただいている。

まち協施設管理部長

地域会議は、テーマによって集まっていただく団体を決めている。子ども会にいつも出ていただくわけではない。

市民活動支援課長

地域会議は、地域にある様々な問題を地域の団体等が一堂に会して話し合う場。ただ、すべての団体が一堂に会することは現実的に困難なので、テーマによって集まっていただく団体をきめる運用になっている。
また、まち協に事務局があるのは、話し合いの場となるコミュニティ施設の運営管理をまち協にお願いしているため、事務局として適当と判断し、市から声掛けをしてお願いしているもの。

民生・児童委員

若い世代の方に地域会議に出ていただかないと、次に繋がっていかないのであると思うので、検討してほしい。

まち協会長

若い世代の方を常時出席メンバーとする方向で検討する。

○その他

我孫子北地区社会福祉協議会長

つくし野（1丁目～7丁目）では、四号公園で地域の人が、時間になると集まって、多い時は200人以上が体操・太極拳をやっている。特に指導者と言える人はいないようだが、相当長期間続いている。

まち協会長

各自治会に「買い物支援サービス」「生活用品活用情報掲示板つくりました」「健康寿命を延ばすための講座の案内」の配布回覧を依頼。

○次回地域会議開催予定

第3回 平成27年11月15日（日）13：30～15：30

以上